

## 指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家					
指定管理者	財団法人山梨県青少年協会	所管課	児童家庭課			
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	児童に自然の中での集団宿泊生活を通じて、自律、共同などを体験的に学習する機会を提供し、心身ともに健やかな児童の育成に寄与する。					
指定管理者が行う業務	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価 毎日の巡視及び定期的な点検等を行うことにより、施設内の安全及び適正な管理に努めた。	施設所管課の評価・指導内容 施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に事業執行されている。19年度に比べ、点検した結果が確認しやすくなるよう点検簿の書式が改善されているが、更なる点検項目の追加などを行い、維持管理業務の精度向上に努めること。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価 業務仕様書の定めるとおり実施し、適正な管理に努めた。また、利用団体については、事前の電話連絡などを密に行い、適切・安全な管理運営が図れた。	施設所管課の評価・指導内容 事業報告書及び現地調査の結果、適正に管理されている。今後も引き続き安全で適正な管理に努めること。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価 さまざまな自然体験や野外活動等の自主事業を通じ、交流や学習体験の機会を提供した。	施設所管課の評価・指導内容 自主事業の見直しが不十分であり、連年で参加率が悪い同一事業が存在する。事業の改廃を進め、魅力ある事業の実施に努めること。				
利用者満足度調査	調査結果	満足度 施設・整備の整備状況 整っている 56% 受付・接客対応について 満足 65% 行事イベント(自主事業等) おもしろかった 100% 平均 71%	利用者の声 建物の造りが複雑で迷いやすい。 全体的に古い。 風呂の時間が厳しい。			
	評価	指定管理者の自己評価 殆どの利用者に満足していただいている。施設内の導線を始めとした使い勝手が極めて悪いため、案内表示の中で工夫している。	施設所管課の評価・指導内容 受付・接客対応など、ソフト面に関しては、利用者は概ね満足していると考えられる。導線が悪い点に関しては、建物設計上の瑕疵であり改善不可能であるため、利用者のオリエンテーションなどで利用上の注意事項の周知に努めること。			
利用実績	利用者数	19年度実績(人) 21,704 20年度計画(人) 20,268	20年度実績(人) 24,076 21年度目標(人) 21,407			
	評価	指定管理者の自己評価 団体利用者の集中するシーズンには、できるだけ空き部屋をなくすための部屋割り等を調整し、全体的な利用の増加に引き続き努めた。この結果、事業計画の利用者目標をクリアすることができた。	施設所管課の評価・指導内容 今後とも目標達成に向け、各媒体によるPR活動を積極的に行うと同時に、学校訪問なども継続して行い、利用者の増につなげていくこと。			
収支の状況	科目	20年度計画額(円)	20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	2,476,000	3,033,000	-557,000	2,789,000
		指定管理料	56,165,000	56,165,000	0	56,904,000
		その他収入	833,000	513,000	320,000	1,353,000
		計	59,474,000	59,711,000	-237,000	61,046,000
支出	59,474,000	56,941,000	2,533,000	61,046,000		
差し引き(収入-支出)	0	2,770,000		0		
評価	指定管理者の自己評価 昨年に引き続き、直接大学を訪問し運動部の合宿の予約を確保した結果、利用料金収入の更なる増加につながった。	施設所管課の評価 利用料金収入は、計画額より上回ったが、昨年に引き続きその他収入(自主事業の参加者負担金)が計画額を大幅に下回った。早急に自主事業の改廃を行い、より魅力ある事業を工夫する中で、収入確保に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	利用者数については、昨年に引き続き、各種媒体による広報活動、学校訪問等による新規の団体の開拓などを行った結果、目標を達成した。自主事業については、見直しが不十分であるため、事業内容や実施時期等を再検討する中で、より満足度の高い事業の展開を図っていくこと。					
総合的な評価及び改善事項	昨年に引き続き積極的に施設のPR活動を実施したことにより利用者増が図られた。また、基本協定書及び業務計画に基づき適正な管理が行われており、指定管理者が行っている管理運営業務は概ね良好であった。今後も利用者の意見、要望等をできるだけ管理運営に反映し、一層の利用者サービスの向上に努めること。自主事業等については、アンケート等により参加者のニーズを把握する中で、積極的な事業の見直しを行い、利用促進をつなげていくこと。					